



◆あらすじ
専用の機体を駆り、戦場でその名を轟かせる
エースパイロット・リア。しかし敵組織に捕ま
った彼女は様々な洗脳や肉体改造の実験に
利用され、果てにはその身体を兵器のコア
として改造された姿を全世界に晒してしまう。



◆前回のあらすじ

戦いの最中、乗機のコックピット内に小型洗脳ポッドに侵入されたエースパイロット・リアはそのまま簡易洗脳を施されて無力化され、捕虜として敵組織に捕まってしまった。

■洗脳改造装置・試験型

捕らえたパイロットを肉体的・精神的に追い詰めて無力化する試験装置。
上半身と下半身を数居に分けて拘束し、上半身側は研究員達による洗脳の実験が行われ、下半身側は一般兵士達の性処理用として開放されている。
パイロットを洗脳し戦力として再利用するための装置だが試験型故に必要以上に無力化してしまう。その場合、パイロットの身柄はその優秀な素質を利用するために兵器開発科に送られる。



・洗脳装置システムログ

《System log》/『Voice log』

《—装置稼働中—拘束対象チェック中—》

《対象【エースパイロット"リア"】—現在の状態確認》

《—現在洗脳装置は稼働せず拘束のみ、一般兵士・並びに職員の性処理として利用—音声ログチェック》

『ハッ、こうなっちまえば無敵のエースパイロットサマもただの肉便器だな！』

『むぐっ、じゅるっ！ごぼっ、じゅぶうっ！』

『お前がここに連れてこられた時のあの無様な姿は見物だったぜ！』

《対象の精神負荷に効果的と判断—》



・洗脳装置システムログ

《System log》/『Voice log』

『おらっ!くらえっ!』

『むぐっ!!』

《—対象の精神負荷が規定値を越えた事を確認—》

《—洗脳処理システム起動—》

『むぐうっ!?!?むごごごっ!?!』

《—洗脳継続中—動作率50%—》

《—過剰な負荷がかかる恐れがあるため、上半身側による性処理利用を一時的に中断します》



性処理要員改造洗脑中
ご自由にお使いください

・洗脳装置システムログ

《System log》/『Voice log』

『あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ』

《——洗脳継続—洗脳率80%——100%—》

《—対象の無力化を確認—洗脳による命令を開始》

《—命令植え付け失敗—再試行——植え付け失敗》

《身体並びに脳内の無力化には成功、命令の植え付けは失敗です——実験データを保存》

《対象は身体の改造が行われ、兵器開発部門へと送られます。以降のデータはそちらのログを確認してください》



速報

上空に飛行物体出現、敵組織の新兵器か

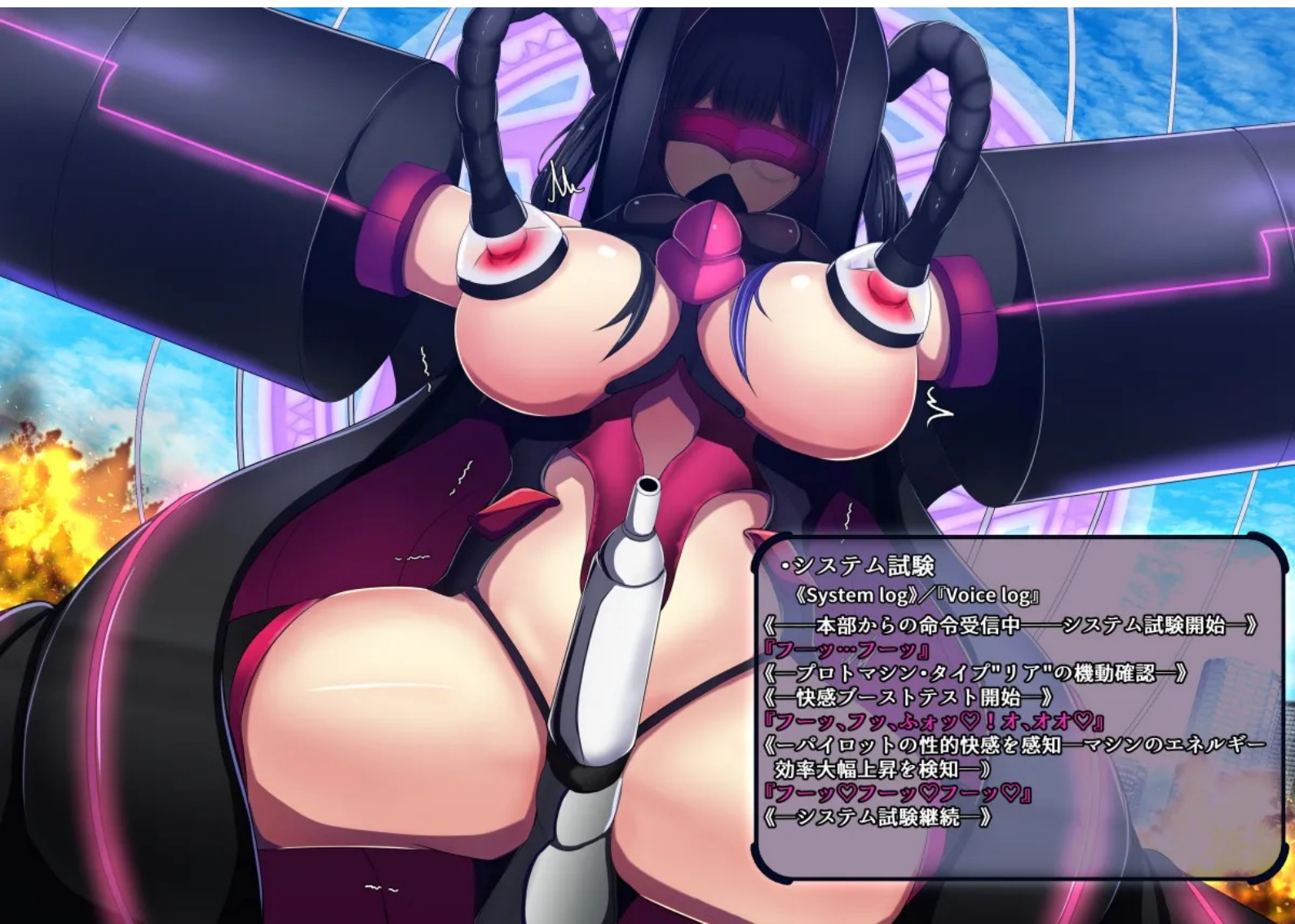


◆これまでのあらすじ

敵組織施設にて洗脳改造を施され、その身体を利用するために兵器開発部門送りにされたエースパイロット・リア。その後、都市上空に謎の兵器が出現、その中心には兵器として改造されたリアの姿があった。

■機動砲台マシン：人体コアシステム試験型

捕虜となったパイロットを洗脳・改造して、マシン操作並びに動力やエネルギー源として利用するシステムを搭載した機動兵装。本機はそのプロトタイプに当たり、企業のエースパイロット"リア"を洗脳改造し搭乗させる事を前提にカスタムが施されている。システムと兵装の実験機としての色が強く、改造を施した股間部に性的快感によるエネルギーを収束させ解き放つ事で、極太のレーザーを放つ兵装を搭載している。



・システム試験

《System log》／『Voice log』

《——本部からの命令受信——システム試験開始——》

『フーツ…フーツ』

《—プロトマシン・タイプ"リア"の機動確認—》

《—快感ブーストテスト開始—》

『フーツ、フツ、ふオツ♡！オ、オオ♡』

《—パイロットの性的快感を感知—マシンのエネルギー
効率大幅上昇を検知—》

『フーツ♡フーツ♡フーツ♡』

《—システム試験継続—》



・システム試験

《System log》/『Voice log』

《——胸部ポンプ起動——》

『フオッ!?♡フッ♡フッ♡フッ♡ンオオオオッ♡』

《——コアの絶頂を感知—母乳吹き出し確認——》

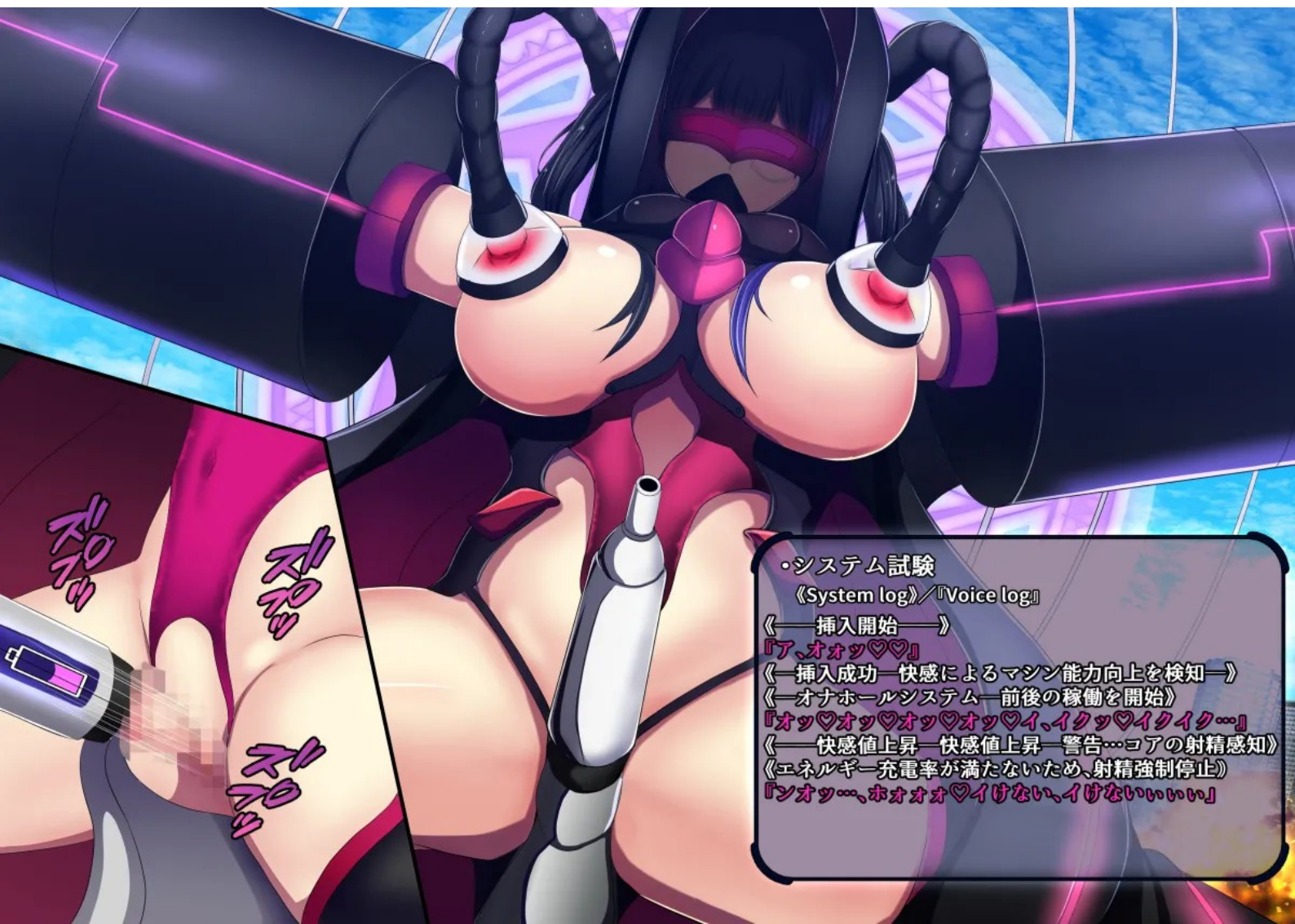
《——母乳のエネルギー変換を確認——》

『オ、オオッ♡ンオオオッ♡』

《——パイロットの改造処置・ふたなり化による勃起を
確認——実験兵装のテストに移行——》

《——システムチェック——》

《コード——オナホールシステム機動》





・システム試験

《System log》/『Voice log』

《——オナホールシステム、前後移動を停止——》

『オオオ…♡オッ♡オッ！♡』

《—快感値上昇を検知—システムチェック中—》

《—コアが自ら停止したオナホールに腰を振っている—》

『ンオオオッ♡♡♡』

《—快感値の大幅上昇を検知—腰を振る疑似性行為状態によるエネルギー上昇の記録を保存し本部に送信》

『ンオッ…、ホオオオ♡イク♡イクイクイクッ♡』

《—エネルギー充電率120%—オーガズム砲発射シーク
エンス確認——》



・システム試験

《System log》／『Voice log』

《—カウントダウン開始—3…2…1…発射》

『オホオオオオオオオッ♡♡♡♡♡』

《—発射確認—想定を越えるエネルギーを検知—》

《—システムチェック中—都市一帯の破壊を確認》

『オッ…♡オッ…♡』

《—発射シークエンス—命令により二射目開始—》

『オッ♡オッ♡オッ♡オッ♡オッ！♡』

《—オナホールシステム強制稼働—強制絶頂並びに
射精システム開始》



・システム試験

《System log》/『Voice log』

《—2射目カウントダウン開始—3…2…1…発射》

『ンオオオオオオッ!!!♡♡♡♡♡』

《—発射確認—1射目より威力・射程の低下を確認—》

《—システムチェック中—》

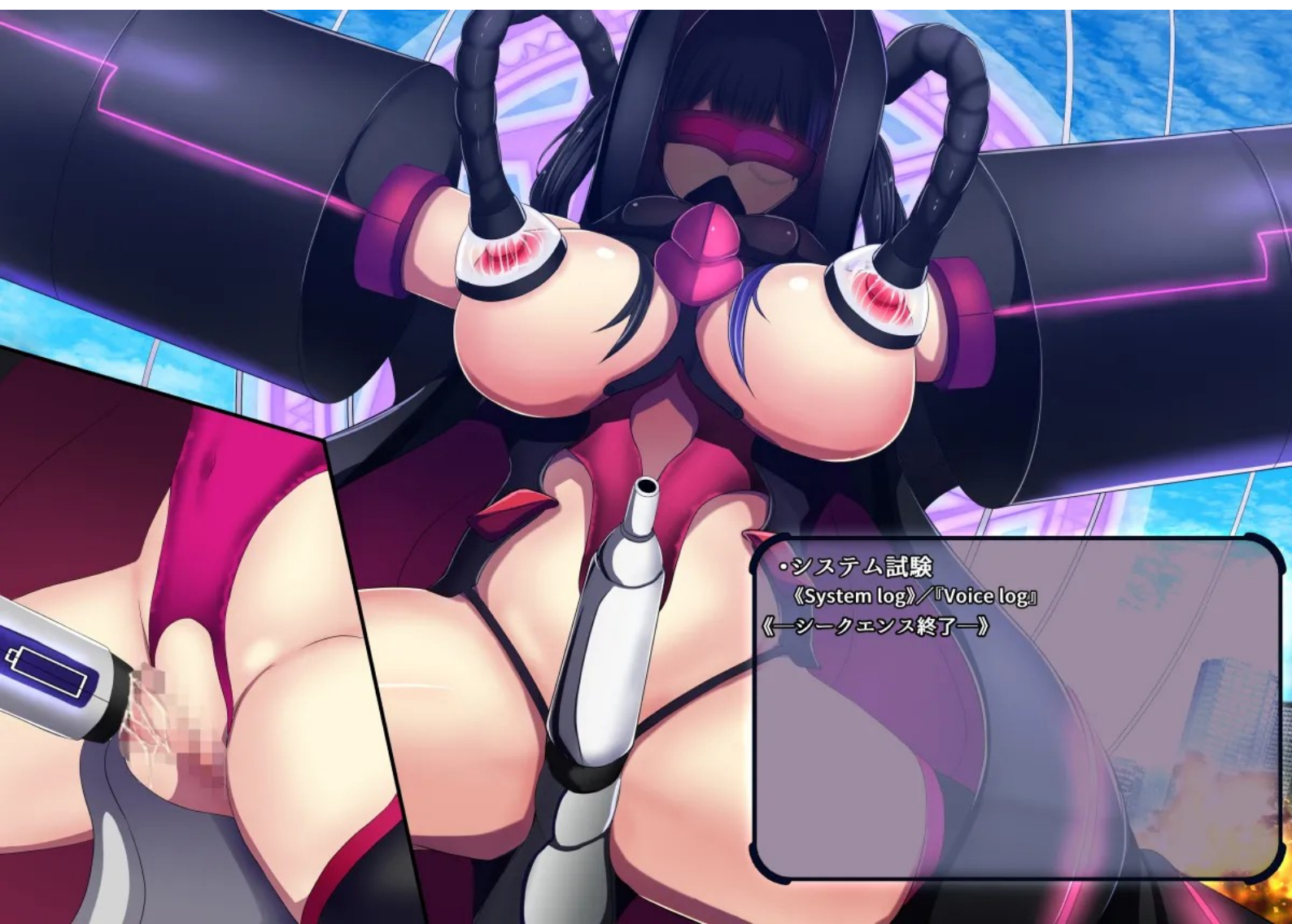
『……』

《—コアの失神を確認—強制絶頂による再起動を開始》

『ンオッ!!!♡♡♡』

《—オーガズム砲の連続発射は不可—データを送信—》

《—実験兵装のテスト終了—マシンを回収—》



•システム試験
《System log》／『Voice log』
《—シーケンス終了—》

